

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】令和6年4月16日(2024.4.16)

【国際公開番号】WO2021/216388  
 【公表番号】特表2023-522865(P2023-522865A)  
 【公表日】令和5年6月1日(2023.6.1)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-101  
 【出願番号】特願2022-562546(P2022-562546)  
 【国際特許分類】

10

H 0 4 W 2 4 / 1 0 ( 2 0 0 9 . 0 1 )  
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 7 ( 2 0 2 3 . 0 1 )  
 H 0 4 W 6 4 / 0 0 ( 2 0 0 9 . 0 1 )  
 H 0 4 W 8 / 2 4 ( 2 0 0 9 . 0 1 )

【 F I 】

H 0 4 W 2 4 / 1 0  
 H 0 4 W 7 2 / 0 4 5 7 1 1 0  
 H 0 4 W 6 4 / 0 0 1 4 0  
 H 0 4 W 8 / 2 4

20

【手続補正書】  
 【提出日】令和6年4月3日(2024.4.3)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更

【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

30

少なくとも1つのトランシーバと、  
 メモリと、  
 前記少なくとも1つのトランシーバおよび前記メモリに通信可能に結合された少なくとも1つのプロセッサと

を備えるユーザ機器(UE)であって、前記少なくとも1つのプロセッサは、

前記少なくとも1つのトランシーバを介して受信された着信(IB)測位基準信号(PRS)リソースを、第1の周波数帯域上で測定するように構成され、

前記少なくとも1つのトランシーバを介して受信側デバイスへ、第2の周波数帯域上で発信(OB)PRSリソースを送信するように構成され、

前記少なくとも1つのトランシーバを介して、および前記第2の周波数帯域が前記第1の周波数帯域とは異なることに基づいて、受信送信時間差指示および前記第2の周波数帯域を示す帯域指示を送信することであって、前記受信送信時間差指示は、前記IB PRSリソースの到着時間と前記OB PRSリソースの放射時間との間の差を示す、送信を行うように構成される、UE。

40

【請求項2】

前記少なくとも1つのプロセッサは、複数の可能OB PRS周波数帯域を示す能力レポートを送信するようにさらに構成され、

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記帯域指示および前記受信送信時間差指示を送信するように構成され、前記帯域指示は、前記能力レポートの中で示される前記複数の可能OB PRS周波数帯域のうちの1つを示す相対帯域インデックスである、請求項1に記載のUE。

50

## 【請求項 3】

前記少なくとも1つのプロセッサは、複数の可能OB PRS周波数帯域を示すOB PRS構成を受信するようにさらに構成され、

前記少なくとも1つのプロセッサは、前記帯域指示および前記受信送信時間差指示を送信するように構成され、前記帯域指示は、前記OB PRS構成の中で示される前記複数の可能OB PRS周波数帯域のうちの1つを示す相対帯域インデックスである、請求項1に記載のUE。

## 【請求項 4】

前記帯域指示は、前記第1の周波数帯域および前記第2の周波数帯域が同じであるか、それとも異なるかを示し、または前記UE用に構成された2つのOB PRS周波数帯域のうちのどちらが前記第2の周波数帯域であるかを示すプリアン指示である、請求項3に記載のUE。

10

## 【請求項 5】

ユーザ機器(UE)において、第1の周波数帯域上の着信(IB)測位基準信号(PRS)リソースを測定するステップと、

前記UEから受信側デバイスへ、第2の周波数帯域上の発信(OB)PRSリソースを送信するステップと、

前記UEから、前記第2の周波数帯域が前記第1の周波数帯域とは異なることに基づいて、受信送信時間差指示および前記第2の周波数帯域を示す帯域指示を送信するステップであって、前記受信送信時間差指示は、前記IB PRSリソースの到着時間と前記OB PRSリソースの放射時間との間の差を示す、ステップと

20

を含む測位方法。

## 【請求項 6】

前記測位方法は、複数の可能OB PRS周波数帯域を示す能力レポートを送信するステップをさらに含み、

前記測位方法は、前記受信送信時間差指示と前記受信送信時間差指示に関連付けられた前記帯域指示とを送信するステップを含み、前記帯域指示は、前記能力レポートの中で示される前記複数の可能OB PRS周波数帯域のうちの1つを示す相対帯域インデックスである、請求項5に記載の方法。

## 【請求項 7】

30

前記測位方法は、複数の可能OB PRS周波数帯域を示すOB PRS構成を受信するステップをさらに含み、

前記測位方法は、前記受信送信時間差指示と前記受信送信時間差指示に関連付けられた前記帯域指示とを送信するステップを含み、前記帯域指示は、前記OB PRS構成の中で示される前記複数の可能OB PRS周波数帯域のうちの1つを示す相対帯域インデックスである、請求項5に記載の方法。

## 【請求項 8】

前記帯域指示は、前記第1の周波数帯域および前記第2の周波数帯域が同じであるか、それとも異なるかを示し、または前記UE用に構成された2つのOB PRS周波数帯域のうちのどちらが前記第2の周波数帯域であるかを示すプリアン指示である、請求項7に記載の方法。

40

## 【請求項 9】

請求項5乃至8のいずれか1項に記載の方法を実行するための手段を備える、請求項1に記載のUE。

## 【請求項 10】

プロセッサ可読命令を記憶した非一時的プロセッサ可読記憶媒体であって、前記プロセッサ可読命令は、ユーザ機器(UE)の1つまたは複数のプロセッサに、請求項5乃至8のいずれか1項に記載の方法を実行させる、非一時的プロセッサ可読記憶媒体。

50